



# ふるさとだより

第4号【新春号】  
平成27年1月1日  
西会津 富士の郷

## 新年のあいさつ

皆様には、輝かしい新年をお迎えの事と存じます。故郷も、例年にない早い積雪にあいりましたが、すこやかな初春を迎えることができました。富士山を中心とした富士の郷活動も、2月のスノートレッキング、7月の山開きと県内各地からの参加を得て実施しました。また、富士ソフト(株)のボランティアの皆様とも交流を深めることができました。

今年は、陳ヶ峯頂上にある、新選組の斎藤一も参戦した戊辰戦争の陣後の整備を始め、2月には駒沢女子大学の学生との交流も予定されています。

故郷に生きることに誇りを持って、多くの皆様方と交流を深めてまいりますので、よろしくお祈り申し上げますと共に皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。



## 新郷地区体育祭 綱引き合戦 5連覇!!

8月31日(日)、第49回新郷地区体育祭が旧新郷小学校校庭で開催され、小清水・漆窪の富士 B チームをはじめ六チームが参加しました。チームの参加者は、老いも若きも全員で25名ほど。

今年から、ビール飲みリレーに代わり、70歳以上の方々による「ポイントゲット」という競技が加わりました。1チーム3名で、点数の入った袋を拾い、その合計点数で順位を決めます。袋に入っている宝物もゲットです。高齢者の出番が一つ増えたことで、各チームの参加者が少しでも多くなればと思います。

さて、「綱引き合戦」では最強の富士 B チーム。準決勝では決着がつかず、じゃんけんでの3本勝負になりましたが、天の味方か強運か、見事勝ち進み、今年も王座を守りました。

この時点で、なんと1位。最後の種目「男女混合ドレーリレー」は棄権の予定でしたが、急きょ参加することになり、8人の合計年齢が規定の270歳を軽く超えるメンバーで臨み、総合3位に輝きました。ヤッター!! 幾つになっても、賞をもらうのは嬉しいものです。

気持ちいい汗を流した後の反省会も大いに盛り上がりました。



## 花いっぱい運動 第2弾 一水仙の球根植え



花いっぱい運動の一環として、漆窪と小清水間の道路路肩の一部にスイセンの球根を植えました。この間の道路は、現在改良工事中ですが、今後も完成と共にいろんな花を植えていきたいと思っています。また、泥浮でも富士山登山口や八重桜の下などに植えました。今春にはきれいな花が咲いてくれると思います。

## 昨年も豊作でした

昨年の稲作の作柄は、天候に恵まれ「良」と平年作を上回る予想での、秋の収穫作業に入りました。

しかし、米の価格は毎年下落し昨年の仮渡金は、前年対比で(コシヒカリ一等 60kg)2,100円ほど安くなっております。福島県の中通り・浜通りは原発の風評被害により3,900円から4,200円も安くなってしまったので、素直に豊作も喜べませんでした。

また、反当りの交付金15,000円も昨年から半額の7,500円となりました。

そばについては、一昨年熊と狸に踏み倒されて全滅でしたが、昨年は一部荒らされた畑もありましたが、そこそこの収穫を得ることができました。昔は手刈りでしたが今ではコンバインによる収穫をしています。

当地区も、これから益々高齢化が進むなか、出来るだけ田畑を守っていきたいと思います。



## 漆窪自治区 収穫祭

平成26年漆窪自治区収穫祭は新嘗祭の日に合わせ11月23日に行いました。

集会所がないため、区長宅で行うのが恒例です。

午前中、男性は歳ノ神に使う萱の刈取り、道路の支障木の伐採や側溝上げ等の作業を行いました。女性は賄いの準備です。

作業が終わり、11時30分の乾杯で収穫祭が始まりました。

腕をふるった料理や新米のおにぎりが並べられ、みんなでいろいろ歓談しながら御馳走になりました。最後は新ソバで締めくくりました。

作柄は、水稻については平年並でしたが、ソバや野菜類は夏場の天候不順により種を蒔けなかったり鳥獣被害が多かったりでありあまり良くなかったと思いますが、秋の収穫の喜びを楽しんだ一日でした。



歳ノ神に使う萱。シートを掛けて保管しています。



なごやかに収穫祭



## 小清水自治区 収穫祭

11月23日(日)に開催した収穫祭は、参加者30名ほど。そば打ちの講習会(講師・長谷沼清吉さん)を開き、自分達で打った「そば」を食べました。もちについても昔の作業を思い出し、臼で搗いた「もち」を食べ、みんなでおいしくいただき、収穫の喜びと豊作への感謝をしました。



そば粉も、もちも、小清水産。

### 西会津国際芸術村のイベント

12/17~1/27 篠田桃紅 版画の世界  
12/21 クリスマス・オペラコンサート

※新年度も写真展などの企画が予定されています

HP <http://nishiaizu-artvillage.com/>

### 小清水・漆窪集落の予定

1/12 小清水 歳ノ神(予定)  
1/15 漆窪 歳ノ神  
1/25 漆窪 春会  
2/22 富士山スノートレッキング(富士ソフト(株)も参加予定)



12/21(日) クリスマス・オペラコンサート→

101歳の美術家篠田桃紅さんの版画作品に囲まれ、飯田康弘さんの迫力ある歌声に魅了されたひとときでした



## — 来年度に向けて —

### ◎陳ヶ峯峠の道路復元

現在、漆窪より陳ヶ峯峠までは、小清水経由で往来しています。以前は、漆窪・陳ヶ峯の間は、小清水集落を通らないで通行できる道路がありました。旧陳ヶ峯街道です。古くは、会津藩主松平正容と松平容敬が通行しており、茶屋が三軒あったと言われていました。たしかに、茶屋跡は今も平地になっています。

昨年秋、その道路の復元作業を行いました。

建物も電柱も送電線もない、舗装もされていない落ち葉の積もった柔らかな道を散策することができ、心がいやされます。

地元の方も都会暮らしの方も、歴史を感じながらここを歩くだけで、きっと心がいやされること間違いありません。



### ◎富士登山道の案内標識や登山者カートボックス 完成

富士登山道入り口の案内板、展望箇所の看板そして登山者カードボックスが完成しました。

昨年12月は早い積雪だったため、雪が消えるまで楽しみにお待ちください。



左から

展望箇所の標識

漆窪別れの道案内板

登山者カードボックス(漆窪口と泥浮口に設置)

展望箇所の標識

### 編集後記

昨年暮れの12月は大雪。ふるさとだより第4号は新春号になりました。今年もよろしくお願いたします。ふるさとだよりや富士の郷のホームページ(<http://www.nct.ne.jp/fujinosato/>)をとおして皆さんと交流を深め、故郷の思いを共有し、ふるさと再生の願いに役立たせていただければと願っております。皆様からの情報は富士の郷メール [fujinosato@nct.ne.jp](mailto:fujinosato@nct.ne.jp) か編集委員までお寄せください。

平成27年1月1日 (貝沼)